

第 679 回

日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 2022年2月19日(土) 午後2時00分

新型コロナウイルス感染拡大防止のため東京都地方会講話会は、来場での開催を模索しておりましたが、今年度は Live Zoom 講話会の開催とさせていただきます。何卒ご理解頂きますようお願い致します。

参加費につきましては無料となりますが、学術集会への参加単位の発行はございません。小児科領域講習の聴講証につきましては、単位申請をさせて頂き、後日オンデマンド講習としてご案内致します。詳細につきましては、ホームページや郵送にてご連絡させていただきます。

お時間の許す限り、ご参加頂きますようお願い致します。

参加方法につきましてはホームページをご参照ください。

次回以降開催予定日

2022年3月12日(土) (WEB開催)

世話人	
プログラム係	古道 一樹
慶應義塾大学小児科	03 (3353) 1211
	(FAX) 03 (5379) 1978

会場係	榎崎 秀彦
日本医科大学小児科	03 (3822) 2131
	(FAX) 03 (5685) 1792

事務局	03 (5388) 7007
	(FAX) 03 (5388) 5193
	e-mail : jpstokyo-office@umin.ac.jp

第 679 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分、指定発言 5 分、追加討論 3 分以内、厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:25

座長 芝田 明和 (東京都立小児総合医療センター感染症科)

1) 小児 COVID-19 で積極的治療介入を要した 3 例

○篠原 有希¹⁾、齊藤みずほ²⁾、鳥海 俊²⁾、高須 倫彦²⁾、八木澤裕美²⁾、村野 弥生²⁾、
宮崎 菜穂²⁾、中澤 友幸²⁾

(東京都保健医療公社豊島病院臨床研修センター)¹⁾、(同 小児科)²⁾

小児の COVID-19 は軽症・無症状例が多いが一部には非典型例、重症化リスクのある症例が含まれるので注意を要する。当院で対応した小児 COVID-19 の 203 例中、積極的な治療介入を要した 3 例 (肺炎の 11 歳男児、発作性夜間へモグロビン尿症の 8 歳男児、小児多系統炎症性症候群の 6 歳男児) を報告する。

2) 発症リスク因子なく月齢 1 で細菌性橈骨骨髓炎を発症した男児例

○高橋 快斗、大江俊太郎、山口 修平、桂 美遥、高田 啓志、坂野 沙里、前田 直則、
簇生なおみ、佐藤利永子、鈴木 絵理、藤田 尚代、山澤 一樹、三春 晶嗣

(国立病院機構東京医療センター小児科)

月齢 1 男児。前日からの発熱で入院し、熱源不明のため経験的抗菌薬治療を開始した。第 4 病日に左前腕の腫脹圧痛が出現し、単純 MRI 所見から左橈骨骨髓炎と診断した。抗菌薬変更後速やかに症状が改善した。静注と内服計 8 週間の抗菌薬治療を行った。治療後の経過も良好である。早期乳児の不明熱では骨髓炎も鑑別にあげることが重要である。

指定発言 新庄 正宜 (慶應義塾大学医学部小児科)

第 2 グループ 14:25—15:00

座長 本間 英和 (東京都立小児総合医療センター新生児科)

3) 門脈血流の逆流を認めた重症新生児仮死の 1 例

○奥田 航、青木 亮二、片山 大地、原 康一郎、秋本 卓哉、今泉 隆行、土方みどり、
不破 一将、清宮 綾子、長野 伸彦、岡橋 彩、森岡 一郎 (日本大学小児科)

日齢 0 の男児。在胎 41 週 0 日、2,366g、Apgar スコア 1/1 点 (1 分値/5 分値) で出生し、重症新生児仮死のため当院 NICU に入院した。低体温療法の復温直後に門脈血流の逆流を認めた。日齢 13 に施行した頭部 MRI の T1 強調像で両側基底核に高信号を認めた。頭部 MRI で異常所見のなかった重症新生児仮死の自験例 3 例の門脈血流の評価と比較し、予後との関連を考察する。

4) 1 型糖尿病母体から出生し片側大腿骨短縮を認めた 1 例

○小野沙也佳¹⁾、蔵本 怜¹⁾、小寺 美咲¹⁾、森田 清子¹⁾、伊藤 直樹¹⁾、三牧 正和¹⁾、
橋本 啓²⁾、木戸浩一郎²⁾、梁 栄治²⁾、山本 麻子³⁾、

(帝京大学小児科)¹⁾、(同 産婦人科)²⁾、(同 放射線科)³⁾

母 38 歳、2 経妊 1 経産。今回妊娠を契機に 1 型糖尿病を発症し、インスリン加療下でも血糖管理不良であった。胎児超音波検査で右大腿骨短縮を指摘された。妊娠 29 週 4 日に前期破水し緊急帝王切開で出生した。発育は在胎週数相当で、右大腿骨短縮以外に外表の形態異常を認めなかった。骨短縮と母体糖尿病の関連について文献的考察も交えて報告する。

5) 胎便吸引症候群から重度の新生児肺高血圧症を発症し、ECMO (体外式膜型人工肺) を用いて救命し得た1新生児例

○福永 遼平¹⁾、渡辺 誠¹⁾、田辺雄次郎¹⁾、板橋 寿和¹⁾、築野 香苗¹⁾、太田 恵介²⁾、深澤 隆治¹⁾、石井 庸介²⁾、伊藤 保彦¹⁾ (日本医科大学小児科)¹⁾、(同 心臓血管外科)²⁾

日齢0男児。39週6日、3718g、Apgar score 4/5で出生した。羊水混濁著明で、胎便吸引症候群と診断。直ちに人工呼吸管理を開始。サーファクタント、NO投与でも酸素化不良が遷延し、出生後6時間でECMOを導入。日齢5にECMOを離脱し、日齢16で抜管した。現在は後遺症を認めていない。胎便吸引症候群のECMOの有効性について報告する。

指定発言 佐々木 孝 (日本医科大学心臓血管外科)

休 憩 15:00—15:05

感染症だより 15:05—15:25 (講演:15分+質疑応答:5分)

座長 岩田 敏 (国立がん研究センター中央病院感染症部)

神谷 元 (国立感染症研究所感染症疫学センター)

教育講演 15:25—16:35 (講演:60分+質疑応答:10分)

座長 菅谷 明則 (すがやこどもクリニック)

夜尿症診療 2022～診療ガイドライン 2021 をふまえて～

藤永周一郎 (埼玉県立小児医療センター腎臓科)

「夜尿症診療ガイドライン 2016」は、5年ぶりに「夜尿症診療ガイドライン 2021」としてアップデートされた。この新ガイドラインでは、非単一症候性夜尿症の診療アルゴリズムや下部尿路症状への対応が追加され、包括的な夜尿症診療が可能となった。本講演では、新ガイドラインをふまえた夜尿症診療の基本や手順、難治症例に対する自験例を紹介したい。

休 憩 16:35—16:40

第3グループ 16:40—17:00

座長 山崎 文登 (慶應義塾大学小児科)

6) 右肩痛を初期症状とした肝未分化胎児性肉腫の1例

○笹本 武明、秋山 政晴、太田千寿瑠、田中 克侑、本田 隆也、柳澤 隆昭、大石 公彦 (東京慈恵会医科大学小児科)

9歳女児。入院の1か月前から右肩痛を訴えていた。発熱、腹痛、腹部膨満を主訴に来院した。画像検査で肝右葉に18cm大の腫瘍性病変を認めた。肝右葉切除術を行い、病理検査で未分化胎児性肉腫と診断した。小児の右肩痛の原因として肝腫瘍による放散痛も念頭におくべきであり、文献的考察を加えて報告する。

7) 悪性リンパ腫との鑑別を要した菊池病の1例

○福田 茂孝、藤原 恵、谷口 明德、石橋 武士、富田 理、栗本 朋子、寺尾梨江子、
高田 オト、藤村 純也、清水 俊明 (順天堂大学小児科)

14歳男子。左鎖骨上窩リンパ節腫脹、1か月前から持続する発熱、体重減少、盗汗を主訴に当院を紹介受診した。FDG-PET/CTで両側頸部、鎖骨上窩、縦隔、傍大動脈、鼠径リンパ節に一致してFDGの異常集積があり、悪性リンパ腫が疑われた。左鎖骨上窩リンパ節生検で菊池病と診断した。菊池病は、全身のリンパ節が関与することも稀にあり、悪性リンパ腫との鑑別を要する。

第4グループ 17:15—17:45

座長 山田 茉未子 (慶應義塾大学臨床遺伝学センター)

8) 肺低形成を合併し救命できなかった Jarcho-Levin 症候群の1例

○出納 達也¹⁾、中野 有也²⁾、城所 励太¹⁾、村川 哲郎¹⁾、及川 洗輔¹⁾、木村 太郎¹⁾
(昭和大学江東豊洲病院小児科)¹⁾、(同 どもセンター)²⁾

日齢0男児。症例は在胎35週4日、出生体重1758gで出生した。出生時から重篤な呼吸障害を認め、すぐに気管挿管を要した。身体所見として下顎が前胸部に乗る程度の短頸を認めた。X線検査では、肋骨、椎骨および胸骨に形成異常を認め、両側の肺低形成が強く疑われた。重症の Jarcho-Levin 症候群の症例を経験したため報告する。

指定発言 吉澤 穰治 (昭和大学江東豊洲病院小児外科)

9) エーラス・ダンロス症候群に伴う体位性頰脈症候群の生理学的・臨床的特徴の検討

○石毛 貴之、呉 宗憲、新村 啓、内多 涼香、伊上 敦也、鶴井 萌子、松本和華子、
大野 幸子、柏木 保代、山崎 崇志、沼部 博直、河島 尚志 (東京医科大学小児科)

エーラス・ダンロス症候群は皮膚、関節、血管など全身の結合織の脆弱性に基づく遺伝性疾患である。国外においては体位性頰脈症候群を伴いやすいことが知られているが、本邦小児・思春期領域においては、これまで報告がない。当科にて3名の検査を施行したため、その生理学的・臨床的特徴について文献的考察を交えて報告する。

指定発言 稲垣 夏子 (東京医科大学遺伝子診療センター)

10) PDGFRB 遺伝子の機能獲得型変異による cranial fasciitis の1例

○柏木 菜緒⁶⁾、山下 基¹⁾、神谷 尚宏^{1),2)}、江口 詩織¹⁾、新里 大毅¹⁾、満生 紀子¹⁾、
磯田 健志¹⁾、稲次 基希³⁾、今井 耕輔^{1),4)}、金兼 弘和^{1),5)}、高木 正稔¹⁾、森尾 友宏¹⁾
(東京医科歯科大学小児科)¹⁾、(同 病院臨床試験管理センター)²⁾、
(同 脳神経外科)³⁾、(同 小児・周産期地域医療学講座)⁴⁾、
(同 小児地域成育医療学講座)⁵⁾、(同 病院臨床研修センター)⁶⁾

10か月男児。前頭部の腫瘍を主訴に来院した。CTにて前頭骨に溶骨性変化を伴う軟部腫瘍を認めた。臨床的、画像的にはランゲルハンス組織球症を疑うも、病理組織学的には稀な筋線維芽細胞腫である cranial fasciitis の診断となり、ゲノム解析から PDGFRB 遺伝子の機能獲得型変異を同定した。

【運営委員会だより】

1. 2022年1月の運営委員会はメール審議で行った。今回の講話会もLive Zoomのみの開催となった。参加者は113名。(2・3月の講話会もWeb開催とする。)
2. 第679回講話会のプログラム編成について承認された。
3. 第679、680回講話会の教育講演および感染症だよりについて、講師と座長が承認された。
4. 第673回講話会(2021.6.12開催)の教育講演は小児科領域講習としてオンデマンド配信され、319名が前登録され234に聴講頂き、224に聴講証が発行された。
5. 2022年2月予定の幹事会、3月予定の総会は書面総会とさせていただき、ご意見は、グーグルフォームでご回答いただく事とした。
6. 2022年5月以降の講話会開催方式は、今後のコロナの感染状況次第によりますが、Web開催の方が良いとの意見が多かった。幹事会でご審議頂いた上で、次期会長にご判断いただく事とした。
7. 89名の方が東京都地方会次期幹事に立候補いただきました。定数(106名~85名)に達したため選挙は行わず、確定とした。
8. 東京都地方会ホームページを改定することとした。

【演題の申し込みについてのお願い】

- 動画が含まれる場合には、その旨を明示して下さい。
- 原則として指定発言をつけて下さい。(共同演者から指定発言は頂けません)
- 演題の締切は次のようになります。
- 運営委員会にて抄録の修正をさせて頂く事もございますので、原則としてご了承ください。

講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切
1月	前年11月30日	2月	前年12月25日	3月	1月31日
5月	2月28日	6月	4月22日	7月	5月31日
9月	6月30日	10月	8月31日	12月	9月30日

申込演題が規定数を上回った場合、さらに1回先のご発表となることがありますのでご了承ください。その場合、事務局よりご連絡します。

【座長・演者の先生方へのお願い】

- 講話会当日、ログインした際に、チャット機能を用いて事務局および進行係へログインした事をお知らせ下さい。

【演者の先生方へのお願い】

- 一次抄録は160字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願い致します(原稿はワード入力にてe-mailにて事務局へ、ご発表後月末までにお送り下さい)。
- 参加した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後(または適切な時期)にTake Home Message(この発表から学ぶこと)を手短かな一文で記したスライドを付け加えていただくようお願い致します。

【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅、勤務先の住所(プログラム送付先)等の変更または、改姓があった場合は、速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。
- 退会される場合も必ずご連絡下さい。お届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。
東京都地方会事務局 e-mail: jpstokyo-office@umin.ac.jp/FAX: 03(5388)5193

【事務局よりご連絡】

- 2月19日の東京都地方会講話会はLive Zoom講話会として開催させていただきます。来場での開催はございませんので、ご注意ください。
参加費は無料となりますが、学術集会の参加単位(iv-B貼付用)の発行はございませんのでご了承ください。小児科領域講習の聴講証(iii貼付用)につきましては、オンデマンド配信で単位が取得できるように申請させていただきます。単位が付与されましたら、ホームページでご案内させていただきます。
ご参加頂くには学会ホームページの講話会プログラム(会員専用)にアクセスして頂きますようお願い致します。アクセスするには全会員共通となりますが、ユーザー名:tokyoとPWD:jps-tが必要となります。ホームページの『開催のおしらせ』に参加URLを掲載致します。
- 2022年3月より事務局連絡先が下記に変更となります。
電話番号・FAX番号:048-706-7196 メールアドレス:jpstokyo-office@ab.auone-net.jp
どうぞよろしくお願い致します

Presentation について

発表者の PC にて Zoom の画面共有で発表して頂きます。スムーズな会の進行のため、なるべく高速で安定しているネット回線環境（可能であれば有線 LAN）と、安定している最新版 Zoom のご用意をお願い致します。発表当日以前に事務局で接続テストの時間を設けますので、必ず接続確認と動作確認を行うよう、よろしくをお願い致します。接続テストの具体的な日程は座長・発表者に事務局よりご連絡致します。また、発表当日は動作が不安定にならないように、バックグラウンドで不要なソフトを動かさないようご協力よろしくをお願い致します。

動画について

動画の発表にはトラブルが多いため、下記の方針をご理解いただきますようお願い致します。

- ① 一般演題での動画の使用はできる限りお控えいただくようお願い致します。
- ② 動画の使用が不可避と考えられる場合、ファイルのセーブ法などの注意事項がありますので、学会事務局に必ず事前にご連絡下さい。
- ③ ②の場合にも、動画の映写にトラブルがあったときに備え、静止画像のみで構成された代替パワーポイントファイルをご用意下さい。当日、動画の映写が不可能と判断された場合には、代替パワーポイントファイルを用いて、時間通りに学会を進行させていただきますことをご了承ください。

第675回東京都地方会講話会教育講演 オンデマンド配信のご案内

2021年9月11日（土）に行われました第675回東京都地方会講話会教育講演の専門医共通講習（感染対策）単位は、講演視聴と設問解答後、合格者には受講修了証がダウンロード頂けるようになります。

演題名 気候変動と感染症 プラネタリーヘルスの視点から

演者 橋爪 真弘 先生
東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学

視聴方法 下記Googleフォームよりご登録をお願い致します。

<https://forms.gle/5W6h5631qF7ZMK5w9>

前登録期間 2022年2月16日(水)～2月22日(火)

前登録された方には後日参加 URL とパスワードをお知らせ致します。

視聴期間は2022年3月1日(火) 12:00～3月7日(月) 12:00 とさせていただきます。
何卒よろしくお願い致します。

なお、2022年3月までの東京都地方会講話会は、Web開催の予定となっております（詳細が決まりましたらHP等でご案内いたします）。

また、教育講演の聴講単位はオンデマンド配信となります。